

〔續日本紀^{二十}〕天平寶字二年八月戊申、勅日並知皇子命^{父草壁}。天下未稱天皇。追崇尊號。古今恒典。自今以後、宜奉稱岡宮御宇天皇。

〔長等の山風^{附錄}〕岡宮は、皇子のおはしましたりし宮號なり、そは大和高市郡飛鳥の地にて、舒明紀に、二年十月、遷都飛鳥岡傍、是謂岡本宮と見え、齊明紀に、二年、是歲於飛鳥岡本、更定宮地、號曰後飛鳥岡本宮とあるも、同地にて、岡宮も同じ飛鳥岡傍に在しなるべし、龍蓋寺あざなを岡

寺とよびて、今岡村といふ處にありとぞ、東大寺要錄に、龍蓋寺記を引て、義淵僧正が、奇特ありて生れたる事をいひて、天智天皇聞食之、與日並知皇子、共令移岡宮、遂以宮賜僧正爲寺號、龍蓋

寺と見えたり、此岡宮をもて、尊號に係け奉られたるなり、^{此皇子の尊號を、神皇正統記、紹運錄、帝王編年記等に、長岡天皇と記せり、}岡を長岡とも云へるによりて、然

〔延喜式^{二十}〕眞弓丘陵^{岡宮御宇}。天皇^在。大^略。釋日本紀^四。帝皇系圖。

草壁皇子^{號長岡}。天皇。

〔皇胤紹運錄〕草壁皇子^{號日並知皇子、淨廣一位、天武十二年立太子、而當皇帝登霞之時、母后}。〔帝王編年記^十〕文武天皇、天武天皇孫、東宮草壁皇子^{道號長岡}。第二子。

〔神皇正統記^{持統}〕草壁の皇子は、太子に立たまひしが、世を早くしたまふ^略。後に追號ありて長岡の天皇と申す。

〔三所大神宮例文〕雖不著天位奉號天皇。崇道盡敬天皇^{舍人親王、文武第八子、廢帝親}。

〔續日本紀^{二十二}〕天平寶字三年六月庚戌、帝御內安殿、喚諸司主典已上、詔曰^略。中。比來太皇太后^聖。武后光^{明子}。御命以^氏。朕^爾。語宣^{中略}。凡人子^乃。去禍蒙福^{久麻}。欲爲^流。事^波。爲親^{爾止}。此大福^乎。取總持^氏。親王^爾。送奉^止。教部^宣。夫。御命^乎。受給^{奈利}。母^加。久爲^流。故是以自今以後、追皇舍人親王^{御父}。淳仁^宜。稱崇道^道。